

ミスミグループ

2018年3月期 上期決算報告

2017年10月31日
代表取締役社長CEO
大野龍隆

目次

1. 17年度上期決算の概要	2
2. 17年度通期連結業績見通し	10

17年度上期決算の概要

為替レート (対円)	FY16上期 実績	FY17上期 実績
USドル	106.4円	111.4円
ユーロ	119.1円	126.6円
人民元	16.1円	16.5円

17年度上期 決算概要

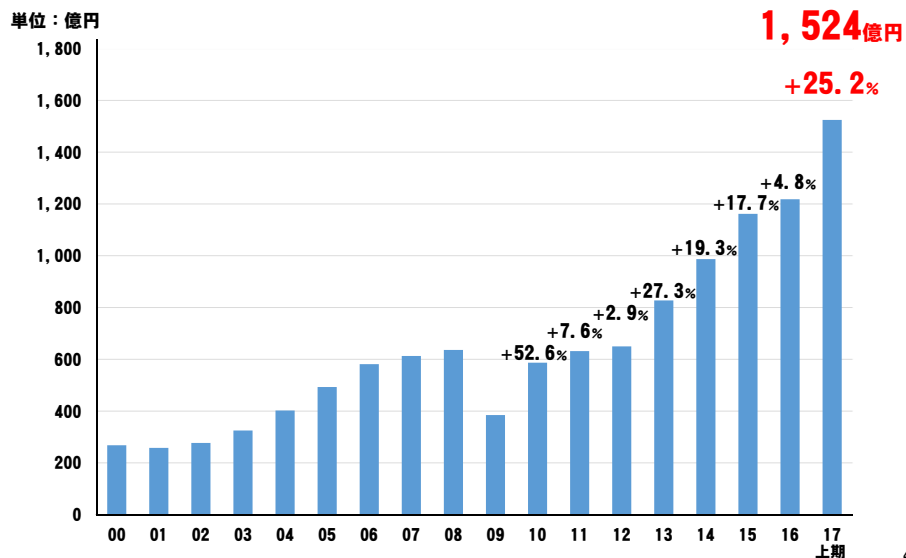
売上・利益ともに上期として過去最高を更新
売上過達に加え、収益性改善+為替影響により大幅増益

項目	FY16上期 実績	FY17上期			
		計画	実績	増減率	
				対前年	対計画
売上高	121,802	138,000	152,465	+25.2%	+10.5%
営業利益 (のれん等償却前) ※	14,416	16,000	20,074	+39.2%	+25.5%
利益率	11.8%	11.6%	13.2%	+1.4pt	+1.6pt
営業利益	13,295	14,800	18,902	+42.2%	+27.7%
利益率	10.9%	10.7%	12.4%	+1.5pt	+1.7pt
経常利益	13,114	14,500	18,627	+42.0%	+28.5%
当期利益	8,350	10,100	13,040	+56.2%	+29.1%

※北米D.L社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益

上期売上高推移

金融危機以降、持続的に成長を重ねた上で今期25%の増収



4

17年度上期 事業別売上高

全セグメントで増収

- ・ F A 確実短納期の優位性により国内外で高成長
- ・ 金型部品 自動車、家電、精密分野等で顧客拡大
- ・ V O N A 品揃え増や短納期化のグローバル展開が加速

百万円

項目	FY16上期 実績	FY17上期		
		実績	対前年増減率	
			円ベース	現地通貨ベース
合計	121,802	152,465	+25.2%	+22.7%
F A事業	40,011	51,731	+29.3%	+26.9%
金型部品事業	32,980	38,692	+17.3%	+13.8%
V O N A事業	48,810	62,041	+27.1%	+25.4%

※FY16より全ての連結子会社の連結会計期間を4月開始・3月末締めに統一したことに伴い、期スレ調整が解消しております。

5

17年度上期 事業別営業利益

F A事業は売上増による工場稼働率向上で大幅増益

金型部品事業も製造コストダウン効果で増益

V O N A事業は海外展開加速により利益率微減も増益を確保

百万円

項目	FY16上期		FY17上期			
	実績	利益率	実績		対前年増減率	
			実績	利益率	円ベース	現地通貨ベース
合計	13,295	10.9%	18,902	12.4%	+42.2%	+34.1%
F A事業	6,222	15.6%	10,539	20.4%	+69.4%	+62.7%
金型部品事業	2,129	6.5%	2,767	7.2%	+29.9%	+20.6%
のれん等償却前	3,250	9.9%	3,938	10.2%	+21.2%	+13.5%
V O N A事業	5,158	10.6%	5,823	9.4%	+12.9%	+4.9%
その他・調整額	▲215	-	▲227	-	-	-

6

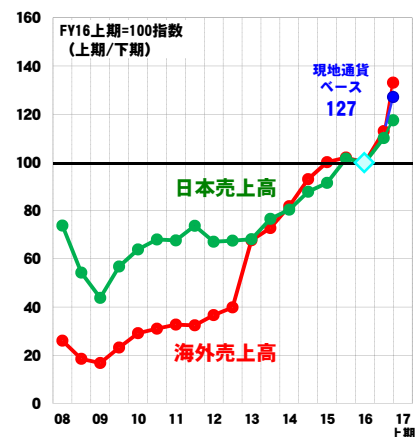
17年度上期 日本・海外売上高

日本 F A・V O N A事業は増収継続、金型事業も堅調に推移

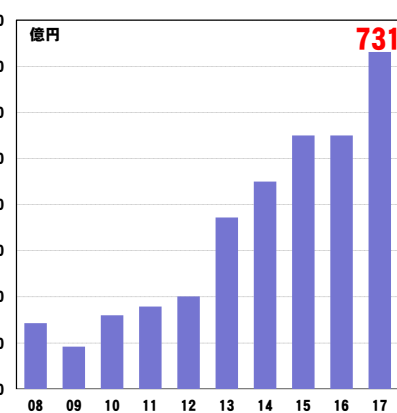
海外 中国・アジアは全事業セグメントで高成長

海外売上高は現通ベースで27%増、海外比率は48%

日本・海外売上高



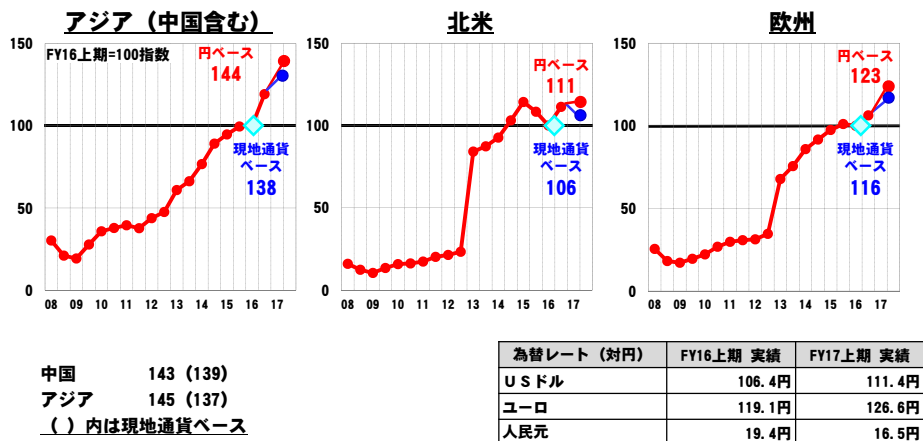
海外売上高 (上期)



7

17年度上期 地域別売上高 (現地通貨ベース)

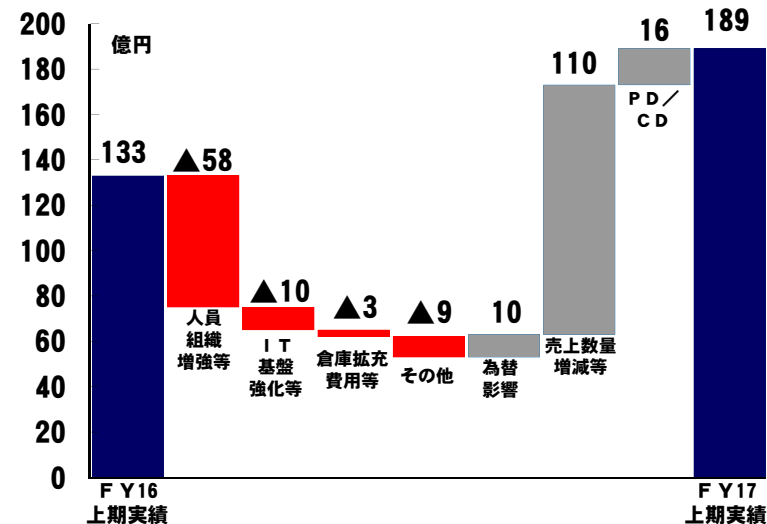
アジア 中・韓等でスマホ関連需要を刈取り大幅増収
 北米 自動車・医療機器分野等でF A事業拡大、金型は微増
 欧州 顧客層の拡大継続によりF A事業が大幅に伸長



8

17年度上期 営業利益増減分析 (前年比)

人員組織増強は計画超で推移、事業基盤への投資はほぼ計画線
 売上数量増と為替のプラス要因により費用増を吸収し大幅増益



9

17年度通期連結業績見通し

為替レート (対円)	FY16 実績	FY17 下期計画	FY17 通期計画
U S ドル	109.0円	110.0円	110.8円
ユーロ	119.4円	131.0円	128.7円
人民元	16.2円	16.8円	16.6円

10

17年度通期 業績見通し

スマホ・有機E L・半導体等の分野でF A需要継続を見込む
 通期業績を上方修正、7期連続で過去最高業績更新の見通し

項目	FY16	FY17			
	実績	前回計画	修正計画	対前年	対前回計画
売上高	259,015	290,000	314,000	+21.2%	+8.3%
営業利益 (のれん等償却前) ※	29,421	33,300	38,000	+29.2%	+14.1%
利益率	11.4%	11.5%	12.1%	+0.7pt	+0.6pt
営業利益	27,127	31,700	36,350	+34.0%	+14.7%
利益率	10.5%	10.9%	11.6%	+1.1pt	+0.7pt
経常利益	26,462	31,100	35,750	+35.1%	+15.0%
当期利益	18,387	21,600	24,900	+35.4%	+15.3%

※1. 北米D L社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益
 2. 17年度のれん償却は2017年10月で終了

11

17年度 事業別売上高見通し

F A事業・VONA事業はグローバルで高成長持続を見込む
金型部品事業は下期に自動車業界低迷を織り込むも増収を計画

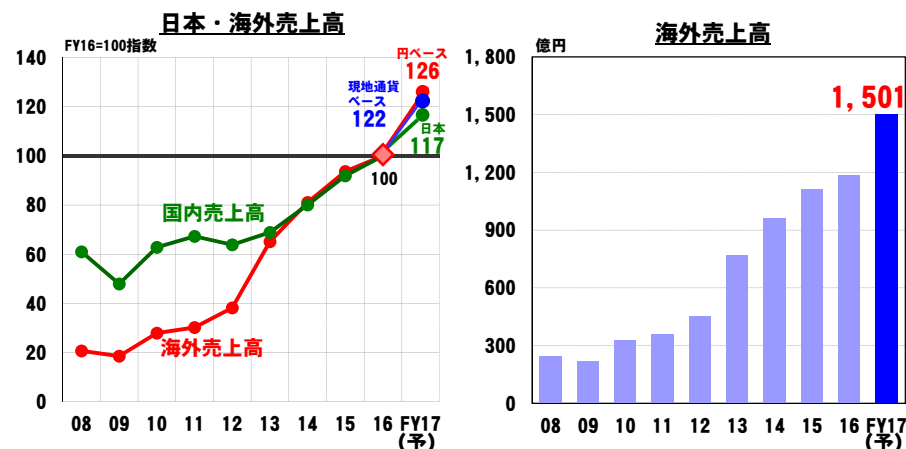
百万円

項目	FY16	FY17				
		実績	前回計画	修正計画	対前年	
	円ベース				現地通貨ベース	対前回計画
合計	259,015	290,000	314,000	+21.2%	+19.3%	+8.3%
F A事業	84,669	92,963	103,636	+22.4%	+20.4%	+11.5%
金型部品事業	69,797	73,672	77,524	+11.1%	+8.6%	+5.2%
VONA事業	104,548	123,364	132,840	+27.1%	+25.6%	+7.7%
その他・調整額	-	-	-	-	-	-

12

17年度 日本・海外売上高見通し

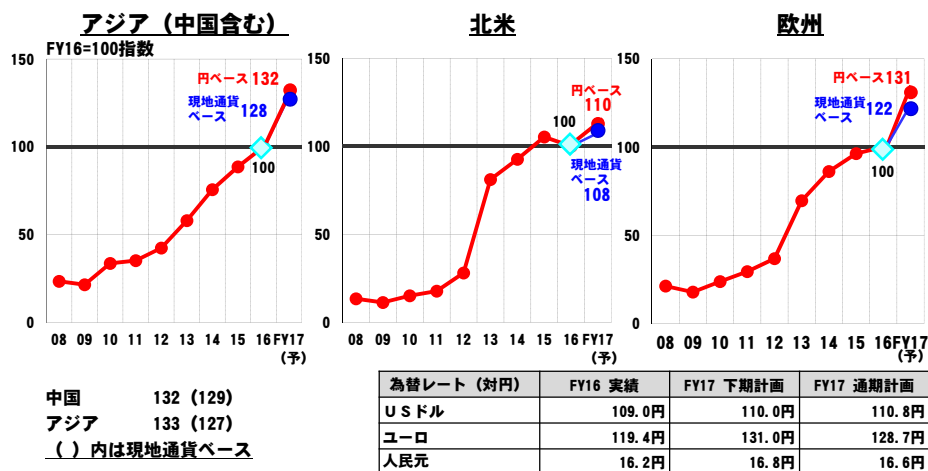
日本 F A事業、VONA事業がけん引し成長が継続
海外 中国、アジア、欧州で引き続き大幅増収の見通し
海外売上高は、現地通貨ベース22%増を計画



13

17年度 地域別売上高見通し (現地通貨ベース)

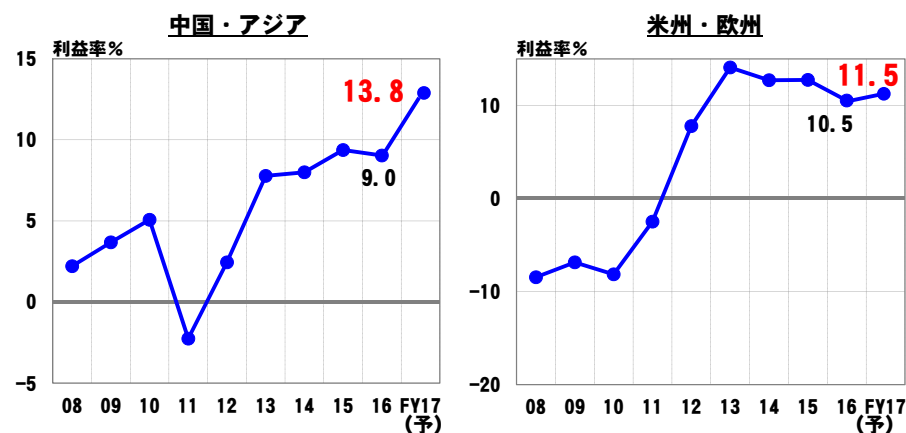
アジア F A需要の刈取り、VONA事業拡大で高成長継続
北米 F AはEV関連等の新規分野を開拓、金型需要は低迷
欧州 顧客拡大によるF A事業高成長で大幅増収



14

17年度 所在地別営業利益見通し

中国・アジア 生産拠点の効率改善、調達コスト低減を継続
米州・欧州 F A事業の売上数量増効果により収益性向上

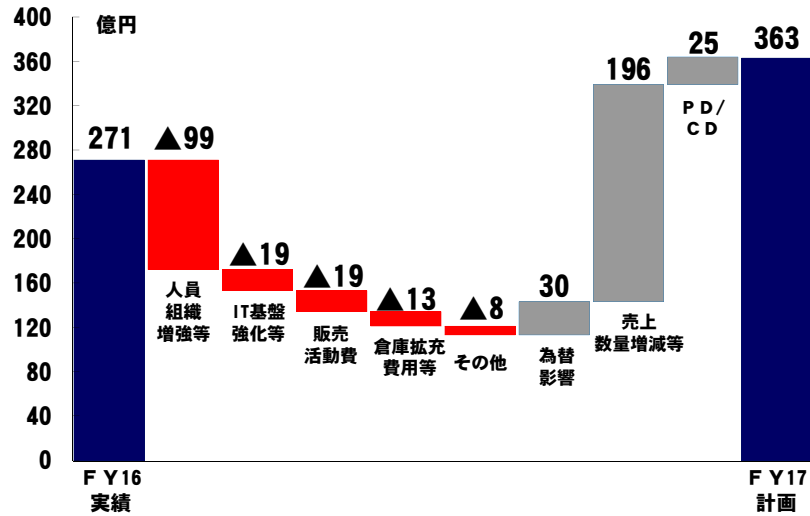


- 所在地別営業利益に基づく
- 12年度より米州・欧州合計と中国・アジア合計の2地域別で営業利益(率)を表記
- 北米D L社の買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却前営業利益を元に算定

15

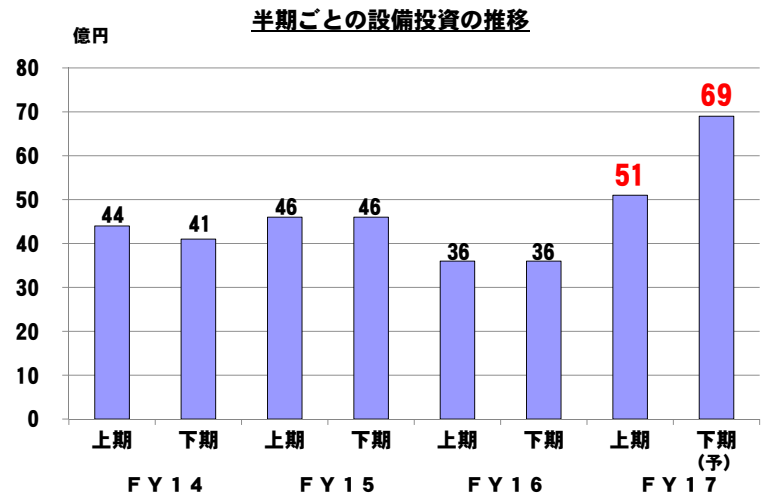
17年度 営業利益増減要因(前年比)

人員組織の増強、IT基盤強化など「攻め」の投資を継続
 売上数量増+PD/CDに加え為替要因もあり大幅増益を見込む



投資計画

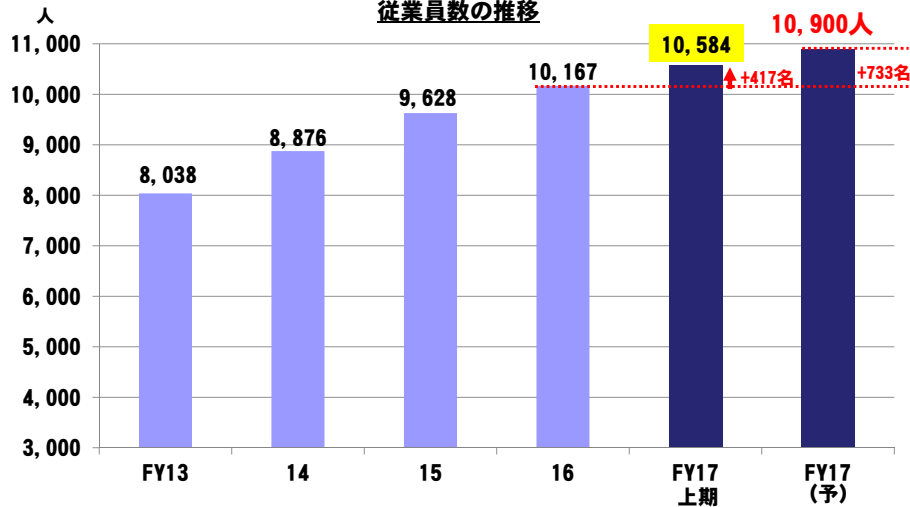
上期の設備投資は計画通りに進捗
 グローバル確実短納期強化に向けた物流・IT投資を継続



人員の強化

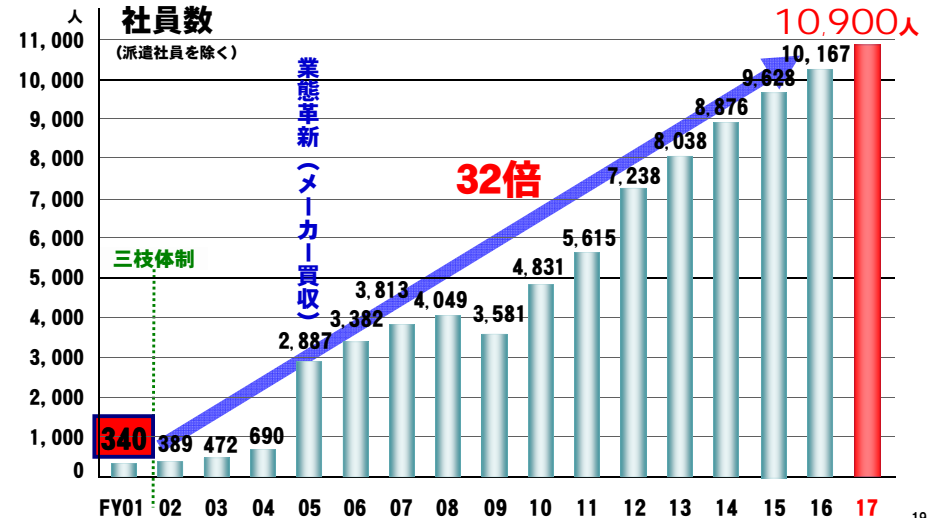
ほぼ計画通りに人員強化が進展
 引き続き国内外で生産・物流拠点、IT関連の組織を増強

従業員数の推移



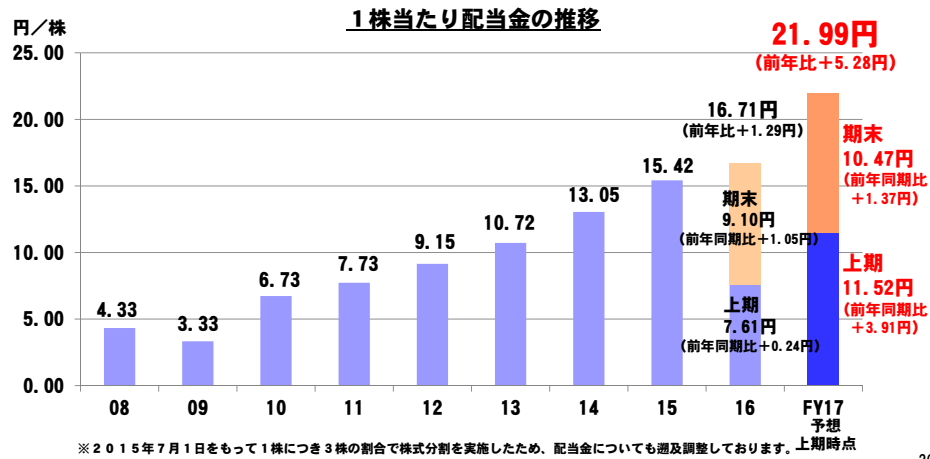
社員数の増加

ここまでの戦略経営により組織陣容は確実に進化
 一層の組織強化を図り「攻め」の経営を指向し続ける



株主還元

17年度上期配当は11.52円で前年同期比3.91円の増配
 年度配当は21.99円、前年比5.28円増を見込む



まとめ

売上高3,000億は通過点、さらなる持続成長を目指す

